

氏名	村井美代	部署	健康開発学科	職名	准教授
研究分野	細菌学、細菌遺伝学				
学位	博士（医学）				
学歴	1984年お茶の水女子大学理学部生物学科卒業、1986年お茶の水女子大学大学院理学研究科修士課程修了				
経歴	1987年東京慈恵会医科大学医学部細菌学教室助手、1999年埼玉県立大学短期大学部衛生技術学科講師、2005年埼玉県立大学保健医療福祉学部健康開発学科准教授				
所属学会（役職）	日本細菌学会、日本臨床検査学教育学会				

【2019年度実績】

1. 研究業績						
(1) 著作						
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	該当なし					
(2) 論文						
	論文の名称	単・共	査読	雑誌名、巻（号）、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	Distribution of lag-1 Alleles, ORF7, and ORF8 Genes of Lipopolysaccharide and Sequence-Based Types Among <i>Legionella pneumophila</i> Serogroup 1 Isolates in Japan and China.	共著	あり	Frontiers in cellular and infection microbiology 9 274	Jiang L, Amemura-Maekawa J, Ren H, Li Y, Sakata M, Zhou H, Murai M, Chang B, Ohnishi M, Qin T	2019.8
2	肺炎球菌ワクチン その効果と課題	単著	なし	検査と技術 47(5) 580-583	村井 美代	2019.5
(3) 学会発表						
	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市	発表者（発表者は○印）	発表等年月	
1	黄色ブドウ球菌は鼻腔より咽頭で入れ替わりやすい	共同	第92回日本細菌学会総会、札幌市	○村井美代, 田野ルミ, 岸井こずゑ, 前川純子	2019.4	
2	健康者の保菌調査で見つかったMRSAの解析	共同	第47回埼玉県医学検査学会、さいたま市	○京野那奈美 阿部恵利子 梅田春香 岸井こずゑ 村井美代	2019.12	
3	若年健康者の保菌調査で得られたMRSAクローンの多様性	共同	第93回日本細菌学会総会、名古屋市	○村井美代, 岸井こずゑ, 前川純子	2020.2	
(4) その他						
	名称	単・共	発表場所等	発表者（発表者は○印）	発表等年月	
1	該当なし					
2. 競争的資金等の研究						
	競争的資金等の名称	研究名		研究代表者・研究分担者の別	研究期間	
1	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究C）	黄色ブドウ球菌の咽頭保菌の実態解明および口腔保健行動による除菌の検討		研究代表者	2018.4~2022.3	
3. 教育業績						
(1) 講義						
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）		
1	微生物学概論	○	7/7コマ	オリジナルのPowerPointスライドを用いて、人々の健康を支える微生物や、消毒・予防接種といった微生物感染症を制御するための基礎的知識についての講義を行った。知識の定着を図るため、学生が自ら講義内容をまとめ、質問や感想を記載するためのプリントを用意し、講義終了後に提出させた。		
2	分子細胞生物学	○	13/15コマ	オリジナルのPowerPointスライドを用いて細胞生物学および分子生物学の基礎を解説した。授業の最後にその日の授業内容の復習課題を出して提出させ、翌週評価を返し解説することで授業内容の定着を図った。		

3	微生物学	○	15/15コマ	オリジナルのPowerPointスライドと穴埋め式の配布プリントを作成し、微生物学の基礎から感染機構まで解説した。授業の最後にその日の授業内容の復習課題を出して提出させ、翌週評価を返し解説することで授業内容の定着を図った。
4	臨床微生物学Ⅰ		2/15コマ	オリジナルのPowerPointスライドと穴埋め式の配布プリントを作成し、嫌気性菌及び真菌について解説した。
5	医療安全管理学		1/7コマ	医療関連施設における標準予防策および感染経路別予防策について講義したうえで、臨地実習中に学生が遭遇する場面でのように対応すれば良いか考えさせた。
6	病因病態検査学	○	3/15コマ	大学院博士前期課程の講義。病理学、血液学、免疫学、微生物学担当教員によるオムニバス講義。病原体検出のための遺伝子検査に関わるトピックスを紹介し、遺伝子検査の利点と限界について理解を深めてもらった。
(2) 演習				
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	臨床微生物学Ⅱ		8/15コマ	培養期間が長い抗酸菌検査および迅速検査としての臨床検体のグラム染色の実技指導を、科目責任者と2名で担当した。
2	検査総合演習		2/15コマ	臨床微生物学分野の国家試験の出題傾向と対策について講義した。
(3) 実習				
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	ヒューマンケア体験実習		2019.9.	2施設、11人の学生を担当した。
2	微生物学実習	○	24/24コマ	オリジナルの実習テキストを作成して実施した。無菌操作、グラム染色などの基礎技術が身につくよう一人一人に個別指導を行った。また自己検体から細菌を分離同定する一連の流れを体験させ、臨床検体を想定した分離同定検査へとつなげた。科目分担者と2名体制で担当した。
3	臨床微生物学実習		24/24コマ	臨床検体を想定した異なる細菌を含む模擬検体を一人一人に配布し、自力で分離同定検査が進められるように指導した。科目責任者と2名体制で担当した。
4	臨地実習		2019.12～2020.3	施設担当として、1施設2名の学生の事前指導および登校日対応を行い、施設で学生の症例検討発表会に参加した。
5	遺伝子・染色体検査学実習		15/24コマ	感染症分野の遺伝子検査として、DNAの抽出をせずに直接PCRを行うコロニーダイレクトPCR法を用いる薬剤耐性遺伝子の型別を行わせ、遺伝子検査の迅速性や利便性について理解を深めさせた。また科目責任者を補佐して、人自己細胞からのDNA抽出およびそれを用いたPCRによる遺伝子検出を指導した。
(4) 論文指導				
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	卒業研究	2019.4～2019.12	主指導	4名 副指導 4名
(5) その他				
	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	該当なし			
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	該当なし			
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称		任期
1	該当なし			
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容		年月
1	該当なし			

(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	該当なし			
5. 学内運営				
	項目	内容		期間
1	全学的委員会及びセンター業務等	教務委員		2019.4～2020.3
2	学科等における委員会等	日本臨床検査学教育協議会・埼玉県立大学議決権者		2019.4～2020.4
3	大学広報活動	オープンキャンパスでの模擬実習、実習室解放（延べ3日）		2019.6～2019.8
4	学生支援	1学年担任		2019.4～2020.4
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）				
	受賞名	主催		受賞年月
1	該当なし			
7. 特許の取得				
	特許名	特許番号		登録年月
1	該当なし			
8. 特記事項				